

# ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

2018

7

No.809

県政150周年記念

7月12日に  
県政150周年を  
迎えるよ!



兵庫県マスコット  
はばタン



## P2 特集

交流と支え合いの輪を広げよう!  
～多様な主体の協働による地域福祉の推進～

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」地域での支え合い

P7 みんなでつくるひょうごの福祉

身近な資源を活用して地域の課題と向き合う～誰でもできる支援～

P8 キラリ★社会福祉法人

社会福祉法人 希望の家 学習サポート「ひかり」

P9 私の物語

「食」を通して地域のつながりをつくる  
入江 一恵さん(明石市)

P10 ひょうごの福祉NOW

P12 インフォメーション

7月は「社会を明るくする運動の強調月間」です。



この機関紙は赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



# 交流と支え合いの輪を広げよう!

～多様な主体の協働による地域福祉の推進～

兵庫県は、多様性に富む五国から構成され、各地域が個性を発揮し、連携しながら今日の姿を形作ってきた。今年は、その兵庫県が誕生してから150周年に当たる。

本格化する人口減少・超高齢社会の中で地域の持続可能性を確保できるかといった新たな課題に直面する中、長年にわたる地域福祉活動の蓄積を糧に、多様な主体の協働を進めていくことが大切だ。

特集では、県政150周年の節目に、地域福祉を推進する皆さまからのメッセージを紹介するとともに、これからの地域福祉の方向性について考える。



## 兵庫県と地域福祉の歩み

### 県政150周年を迎える兵庫県

兵庫県は、慶応4(1868)年5月23日(新暦7月12日)、神戸港の開港、明治維新に続いて誕生した。その後の廃藩置県や府県統合を経て、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の、歴史・文化や気候風土が異なる五国が一つになり、兵庫県となった。

その後、人口増加や高度経済成長を経て、人口減少・超高齢社会へと時代が大きく変化する中、150周年を迎えた。その節目に当たり、兵庫の強みを生かした地域づくりを進めていこうと「兵庫の未来を創る」創造と共生の舞台・兵庫の実現をめざして「」をテーマに記念事業が展開されている。

### 地域福祉の歩み(戦後を中心に)

次に、県内の地域福祉推進における要である社協・社会福祉法人、民生委員の歩みを紹介する。

民生委員の歴史は今日まで

### 兵庫県の地域福祉の歩み

1868年	兵庫県誕生
1947年	兵庫県民生委員連盟設立
1951年	兵庫県社会福祉協議会設立
1964年	善意の日(6月1日)制定
1981年	兵庫県社会福祉施設経営者協議会設立
1984年	兵庫県福祉コミュニティ憲章制定
1995年	阪神・淡路大震災(ボランティア元年)
1998年	県民ボランティア活動の促進等に関する条例制定
2003年	兵庫県地域福祉支援計画策定(第1期:2004~2008年)
2012年	「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン開始

100年に及ぶが、全県組織として昭和22(1947)年に「兵庫県民生委員連盟(現在、兵庫県民生委員児童連合会)」が発足した。

昭和26(1951)年には、兵庫県社会事業協会や兵庫県・神戸市民生委員連合会、兵庫県共同募金会などの参画により、兵庫県社協が設立され、全国に例を見ない早さで市区郡町の社協も結成された。

また、昭和56(1981)年に「兵庫県社会福祉施設経営者協議会(現在、兵庫県社会福祉法人経営者協議会)」が設立され、法人経営の近代化の一步を踏み出した。

このような歴史の蓄積を踏まえ、県政150周年に当たり、これからの地域福祉に対する思いやメッセージを関係者に寄稿いただいた。

### 地域福祉の推進に向けて

兵庫県福祉部長 柏 由紀夫氏



近年、地域社会が抱える生活・福祉課題は複雑化しており、また、県民の福祉に対するニーズは多様化しています。このような中、公的な福祉サービスだけでなく、地域の住民、自治会、NPO等が協力してこれらの課題に対応することが重要となってきています。

国では、地域共生社会の理念を掲げ、皆が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域社会の実現を目指し、住民の地域課題解決力の強化や包括的な支援体制づくりを進めています。

兵庫県でも、これらの動向を踏まえ、本年4月から「ユニバーサル社会づくりの推進に関する条例」を施行し、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、県民誰もが安心して暮らし、元気に活動できるユニバーサル社会の実現に向けた取り組みを進めるとともに、県内各市町の地域福祉推進のガイドラインとなる「地域福祉支援計画」の改定作業に取り組んで



県立総合衛生学院(介護福祉学科)や県社会福祉研修所が入る新たな人材育成拠点 ※現在改築中

また、地域団体等の活動を促進するため、住民相互の見守り活動を支援する「地域相互見守りモデル事業」や、住民主体の生活支援サービスを支援する「地域福祉活動支援事業」等の事業を展開しています。

さらに、広く福祉人材を確保するため、外国人技能実習制度等を通じた外国人介護人材の受入支援や、県立総合衛生学院における介護福祉学科の開設(平成31年4月予定)に向けた取り組みを進めています。

人口減少・少子高齢化が進む中、誰もが住み慣れた地域の中で安心して暮らしていけるよう、今後も、県民の皆さんの参画と協働を基調とした地域福祉の推進に努めてまいります。

### 今後の地域福祉活動の推進に向けて

市町社協活動推進協議会 会長 長井 克己氏



社会福祉協議会は、昭和26年の制度発足以来、地域福祉の推進を目的にさまざまな活動・事業に取り組んでまいりました。

中でも、市町社協は、直接、住民に接する最前線の機関として、地域の福祉課題の把握に努め、住民ニーズに立脚した活動を展開するとともに、住民の地域福祉への関心を高め、その自主的な取り組みを支援してきました。

こうした状況の中、国では、「地域共生社会」の実現を図るため、支援を要する人たちの生活・福祉課題の解決に向けて、住民参加による包括的な支援体制の構築を進めようとしています。このことは、これまで市町社協が取り組んできたことでもあり、このたび国の施策に位置付けられたことには感慨深いものがあります。

一方で、地域では、格差・貧困問題、社会的孤立・排除などが依然



市町域において地域福祉をいっそう推進するため、県内社協会長が協議を重ねる

として広がっていることから、市町社協、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設など関係者が連携・協働をさらに強めながら、課題解決に向けた取り組みを進めていく必要があります。

市町社協としては、こうした「連携と協働」のコーディネーターとしての役割を果たしていきたいと思っています。

県では、本年度、「兵庫県地域福祉支援計画」の第4期の改定が行われます。また、「県政150周年記念県民連携事業」が実施され、地域づくりに向けた多様な取り組みが展開されます。

市町社協としても、これらの取り組みと協働し、さまざまな主体が地域の一員として参画し協働する「支え合い社会」の実現を目指して、引き続き地域福祉活動を推進していきたいと考えています。

地域公益活動を担う  
社会福祉法人

兵庫県社会福祉法人経営者協議会  
会長 婦木 治氏



兵庫県社会福祉法人経営者協議会は、県内で社会福祉事業を経営する社会福祉法人等の代表者等が集まり、昭和56年12月に発足しました。発足以来、現在まで、社会福祉法人に関する基本的課題についての調査検討を行い、実践を重ねてまいりました。

昨今、社会福祉法人の公益性を確保する観点から行われた社会福祉法人制度改革において、「経営組織のガバナンスの強化」、「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」、「地域における公益的な取組を実施する責務」が求められることとなりました。

特に、新たに責務化されることとなった「地域における公益的な取組(地域公益活動)」につきましては、兵庫県社会福祉協議会と共に、各市区町において「社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)」の設立が進むよう、各種支援

活動にも取り組んでおります。さらに、全県的な組織として「社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会」を立ち上げるなど、地域における公益的な取組の全県的普及に努めているところです。

今後とも引き続きまして、その時々の課題に対応した調査研究事業を実施するとともに、各種講演会・セミナー等を開催し、その成果を広く地域の皆さまに発信するなど、地域公益活動をはじめとする社会福祉の発展に向け取り組んでまいりますので、皆さまからのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



県内で設立が進む社会福祉法人連絡協議会  
今年5月にたつの市でも設立された

暮らしに寄り添って100年  
これからの地域福祉活動

兵庫県民生委員児童委員連合会  
会長 亀田 龍昇氏



大正6年に岡山県で始まった濟世顧問制度を源とする民生委員制度は、制度創設100周年を迎え、児童委員制度も70周年を迎えました。また、兵庫県内でも、大正8年に設置された救護視察員制度を原点として、常に人々に寄り添い、身近な相談相手、行政や福祉関係者へのつなぎ役として活動してきました。

今日、地域社会や家族の姿が大きく変化し、高齢者の孤立や引きこもり、子どもの貧困、児童虐待など住民を取り巻く生活・福祉課題は多様化・深刻化しています。私たちは民生委員・児童委員は、これらの課題解消に取り組むとともに、相次ぐ自然災害での要援護者支援など幅広い活動を行っています。

人と人とのつながりが希薄になったといわれる中、誰もが住み慣れた地域において安全で、安心して暮らすためには、住民同士が

共に支え合うことのできる地域づくりが欠かせないものであり、その牽引役として、民生委員・児童委員への期待は一層高まっています。兵庫県民生委員児童委員連合会では、制度創設100周年を機に、本年1月、国際会議場ポルトピアホールにおいて、記念大会を開催し、県内各地から千名余の同志が一堂に介し、今後の活動の在り方や方向性について考え、ともに、さらなる活動の発展に向けて決意を新たにす機会となりました。

私たち、民生委員・児童委員は、これからも、多くの先人の思いを受け継ぎ、守り続け、民生委員児童委員信条にある「隣人愛」を持って、兵庫県の地域福祉の向上に一丸となって取り組んでまいります。



制度創設100周年を機に記念大会を開催

これからの地域福祉の方向性  
「支え合い社会」に向けて

「日本の縮図」とも呼ばれる多様な地域性を持つ兵庫県では、それぞれの地域に応じた地域福祉の取り組みが展開されており、本紙「ひょうごの福祉」でも今号に至るまで数多く紹介してきた。

国では現在、地域社会における格差・貧困問題、引きこもり、孤立の広がりといった新たな課題を解消しようとして「地域共生社会」に向けた各種施策を矢継ぎ早に展開するなど、地域福祉関連政策の改革を急速に進めている。

このような動向を踏まえながら、長年にわたり地域福祉の取り組みを推し進めてきた市町社協、社会福祉法人・福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティア・NPOなどの組織・関係者は、地域の実情に応じた活動や仕組みづくりを進めることが大切である。「認め合い」ともつながり、支え合う、みんなできく、ひょうごの福祉」の実現に向けて、ひょうごの協働が求められる。

県内各地における地域福祉の取り組み(地域での支え合い活動の一例)

「摂津」「播磨」「但馬」「丹波」「淡路」の多様な歴史、文化、気候風土を有する兵庫県では、それぞれの地域での生活・福祉課題を踏まえたさまざまな活動が展開されている。

小規模集落の支え合い

地区の課題を持ち寄り、前向きに話し合う。  
【新温泉町】  
\*本紙2017年3月号参照



子ども食堂

広がる「子ども食堂」。みんな一緒に集まろう。  
【丹波市】\*本紙2018年5月号参照



居場所づくり

住民が運営するサロン。社協、社会福祉法人と連携。  
【西宮市】  
\*本紙2018年2月号参照



権利擁護・成年後見

市民後見人養成研修修了者が交流し、学びを深める。  
【西播磨4市3町】  
\*本紙2017年3月号参照



集落福祉・社会参加

移動販売をきっかけに交流・見守りの輪が広がる。  
【淡路市】  
\*本紙2016年7月号参照



「チャリティーショップ」は、市民から寄付されたまだ使える物を販売し、その利益を非営利活動に活用しているんだ。日本ではまだなじみが薄いけど、欧米や韓国では広く普及しているよ。今回は神戸市長田区や加古川市でチャリティーショップをしている「フリーヘルプ」を紹介するよ。



## みんなでつくる ひょうごの福祉

地域で支え合い、地域を元気にする取り組みを紹介します。

**地域課題に協働でアプローチする**  
NPO法人フリーヘルプ(以下、フリーヘルプ)は、古着の卸売りに携わっていた西本精五理事長が欧米での古着の買い付けを通して知ったチャリティーショップを日本でも展開していききたいとの思いから、平成21年に取り組みがスタートし、翌年にNPO法人の認証を受けた。明るくおしゃやかな店内には、市民から寄せられた衣服やかばん等がセンス良く並べられ、つい立ち寄りたくなる雰囲気だ。フリーヘルプでは、地域の方々から寄付を受けた衣服等を販売して得た収益金を活用し、身近な地域課題の解決に取り組んでいる。

例えば、長田店では、母子家庭を支援する団体が手掛ける「シングルマザーと子どもの居場所づくり事業」に継続して寄付するほか、障害者支援団体と共に障害者の一般就労に向けたトレーニングの場として店舗を活用している。また、東加古川店では、生活困窮者支援団体と協力して「東播磨地域の生活にお困りの方々の相談・居場所づくり事業」が展開さ

## 身近な資源を活用して 地域の課題と向き合う

～誰でもできる支援～

**チャリティーショップをもっと身近に**  
日本では、まだ少ないチャリティーショップだが、イギリスやアメリカではボランティアグループ・NPO法人等の活動資金獲得、ボランティア活動の場として広く普及している。

西本理事長は「今後は、非営利活動を行う団体の自主財源として活用で

れ、相談だけでなく、軽作業や昼食を楽しむ交流会が実施されている。このようにフリーヘルプは、専門性を持つ団体と協働し、生活する上で課題や困難を抱える地域住民への支援に取り組んでいる。活動のキーワードは「フリーヘルプでしかできないことをやる」。その言葉通り、行政や企業では手の届かない地域課題への支援が展開されている。



長田店の外観。店頭の黒板には、寄せられた寄付金額が報告されている



ふらっとホーム東はりまの食会(東加古川店)

きるようチャリティーショップという収益モデルを発信していきたい。そのためには、誰もが気軽に身近なもの寄付することで社会貢献ができるという意識への転換を促し、チャリティー文化を醸成させていく必要がある」と語る。

今後、チャリティーショップが普及し、地域の課題を地域で解決する仕組みが数多く生まれることを期待したい。

### 取材を終えて

古着という身近なものが、チャリティーショップを通じて困っている人への支援につながることに印象的でした。フリーヘルプの活動を取材する中で、西本理事長の「誰かのために行動を起こす」という強い思いを実感することができました。

特定非営利活動法人フリーヘルプ  
長田店:神戸市長田区腕塚町5-3-1アスタくまにづか1番館南棟  
TEL:078-611-5881  
東加古川店:加古川市平岡町新在家29-7  
TEL:079-421-3755

## TOPICS

### 「支え合い社会」県民フォーラム 開催予告 「居場所、交流と支え合い」をキーワードに パネルディスカッションで県内実践を報告!

参加  
無料

近年、つながりの希薄化や社会的孤立、経済的困窮が課題となる中、地域共生社会の実現に向けて県内各地でさまざまな支え合い活動が進められています。「地域での支え合いをすすめよう!」を合言葉に、つながりや絆が大切にされる「支え合い社会」をみんなで考える場として、県民フォーラムを開催します。

- 日時** 平成30年8月28日(火) 13:00~16:30
- 会場** 神戸芸術センター 芸術劇場(神戸市中央区)
- 対象** 「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの趣旨に賛同する方
- 定員** 800人
- 内容** ●記念講演 「家族との関わり~母として・娘として~」  
講師:綾戸 智恵氏(ジャズシンガー)



### ●パネルディスカッション 「交流と支え合いの輪を広げよう」

地域の居場所づくりを通じて交流を生み出し、支え合い活動を展開する住民主体の地域福祉実践の報告を受け、社会的孤立の防止や身近な地域のつながり・支え合いの大切さについて考えます。

### パネリスト 入江 一恵氏 NPOひまわり会 理事(明石市)

高齢化が進む明舞団地で、ボランティア仲間と「ふれあい食事処 明舞ひまわり」を立ち上げ、運営。さらに、配食サービスや見守り、料理教室、各種イベントを開催するなど、「食」を通して地域のつながりを作っている。



### 丸野 登志子氏 特定非営利活動法人灘水仙の里 代表(南あわじ市)

明治末期の古民家を改修した地域交流ハウス「水仙の里」では、住民や移住希望者などの交流を促進。また、助け合い事業「すけっとクラブ」では、急勾配が多い灘地区(高齢化率45%超)の高齢者への生活援助や移動支援に取り組んでいる。



### 上野 武利氏 社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 事務局長

市社協では、個人の家や空き家を活用し、住民同士がより身近に、気軽に集まれる「つどい場」づくりを推進。フォーラムや交流会・研究会を通じて、つどい場に関する広報・啓発、つどい場同士の交流・ネットワーク化を図っている。

### コーディネーター 松原 一郎氏 関西大学社会学部 教授

### 申込方法

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンのWEBサイトに掲載の「チラシ・申込書」に必要事項をご記入の上、下記事務局までFAXでお申し込みください(URL <http://stop-muen.jp/>)。

事務局:兵庫県社会福祉協議会 企画部 TEL:078-242-4636 FAX:078-242-4153



このコーナーでは、地域福祉のキーパーソンや実践者・当事者らのエピソード・想いを紹介していきます。

## 「食」を通して地域のつながりをつくる

いりえ かずえ  
**入江 一恵**さん  
(明石市)

### Personal History

昭和5年 香川県高松市に生まれる  
平成15年 NPOひまわり会  
「ふれあい食事処 明舞ひまわり」営業開始  
平成24年 兵庫県社会賞 受賞



私のモットー  
**最後まで諦めない**



和やかな雰囲気のレストラン  
誰でも気軽に立ち寄れる

平成15年、兵庫県が明舞団地の再生とコミュニティ活性化の一環として、NPOによる団地再生モデル事業を開始しました。これをきっかけに、「NPOひまわり会」を立ち上げ、「ふれあい食事処明舞ひまわり」の営業を開始し、今年で15年目を迎えました。

阪神・淡路大震災後に経験した宅老所でのボランティア活動や、研修旅行で訪れたデンマークの個人の尊厳を尊重した介護の理想的な考え方に感銘を受けたことが活動の原点になっています。

明舞団地の再生に立ち上がる

「ふれあい食事処 明舞ひまわり」では、週4日の食堂の営業・配食サービスをはじめ、料理教室やイベントの企画開催などさまざまな活動に取り組んでいます。

ひまわりを訪れる方は、温かい食事とともに、お客様同士でお話することをも楽しみにされています。

週4日、休憩しながら1時間もかけて食堂に来てくれる90歳を超えるおばあさんがいらっっしゃいますが、周りの方との間では、「いつまでもお元気でひまわりに来てね」と、心がほっこりする会話が聞こえてきます。

また、配食サービスは、見守り活動でもあるため、必ず手渡しで行うようにしています。認知症の方やインターホンの音が聞こえない方にはドアを開けてもらえないことも多く、1日に3回立ち寄って夜9時になってやっと渡せたこともありましたが、顔を合わせることが大切だと考えています。

皆さんが楽しみにしている食事には、明石で採れた魚介類や野菜な

地域の「見守り」と「居場所」

どの新鮮な食材を使用しています。「個人の尊厳」を尊重し、一人一人のニーズに合わせて刻み食や減塩など食事形態や調味にも工夫を凝らしています。

毎日、目が回る忙しさです。朝6時から仕込みを始めて、営業後に鍵を閉めるのは夜8時になることもありますが、お客様の「おいしかったよ」という声に応えたいという強い思いが原動力になっています。

徐々につながりが広がり、いつしか地域ではひまわりあってこそ「明舞」とも言っていただけのようになりました。これまで活動を続けられたのはボランティアスタッフをはじめ、オープン当時から応援してくれる方、ひまわりの食事を楽しみにしてくれている方々がいらっしゃるからこそだと思います。今後もふれあいの場として地域に根差した活動を続けていきたいです。

継続こそが思返し



こだわりの日替わり定食

### Q2.どのように活動を進めていますか

**A2.**毎週金曜日、子どもたちは家に帰ってから、希望の家ワークセンターの集会室に集まります。施設職員や大学生ボランティアの指導の下、学校の宿題やワークセンターで作成したドリルに取り組みます。普段、机に向かう習慣のない子も、決められた時間は集中して机に向かうことを目指しています。

学習後は、法人の音楽療法士が交代で、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を行っています。集団でのリズム遊びを通して、コミュニケーション力や集中力を養い、学力だけでなく社会性も育てています。

また、毎月お誕生日会を開催するなど、子どもたちが通い続けられるよう工夫しています。

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

## キラリ★社会福祉法人★ ～社会福祉法人 希望の家(宝塚市)～

### 学習サポート「ひかり」

今回は、障害者支援施設希望の家ワークセンターが取り組む学習サポート「ひかり」を紹介します。地域の子どもたちに学校以外の学習の機会をつくりたいと、塾に通っていない子どもを対象に無料で施設の集会室を開放しています。

小学校やボランティアとも協力して、地域に開かれた施設を目指す社会福祉法人の取り組みです。

寺子屋のような雰囲気  
勉強する子どもたち



### Q3.今後、どのように進めていきたいですか

**A3.**学習支援はすぐに成果が出るものではありませんが、施設の開放を継続することで、子どもたちの地域の居場所の一つになっています。

今後は、学習支援の開催回数を増やすことや、施設機能を活用して子どもたちへの食事の提供もできないかと考えています。ボランティアの確保、費用の面など課題もありますが、子どもたちと施設利用者の自然なふれあいを通して、施設の雰囲気も明るくなり、子どもたちの障害者に対する接し方や福祉に対する理解が深まっていると感じています。

今後も「地域に根差し、地域に開かれた希望の家」を目指し、地域に貢献していきたいです。

社会福祉法人希望の家  
障害者支援施設 希望の家ワークセンター  
宝塚市安倉西3-1-5  
TEL:0797-87-0141  
URL:<http://www.kibounoie.org/>

県経営協総会を開催  
戦略的な情報発信を確認

5月15日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルで兵庫県社会福祉法人経営者協議会の第38回総会・記念講演会が開催され県内から約180名が参加した。  
婦木会長の挨拶の後、来賓の井戸知事は、福祉人材の確保と定着、働きやすい職場づくり、地域公益活動の推進への期待を述べた。  
総会では、平成29年度事業報告・決算と平成30年度事業計画・予算が原案通り承認された。

記念講演は、株式会社宣伝会議マーケティング研究室長の谷口優氏を講師に招き、「社会に見せていく、広報戦略とは」法人経営者に期待すること」と題し、時代の変化にも対応できる社会福祉法人の情報発信についてお話いただいた。

谷口氏は講演で、「パーパス(目的・存在意義・理念)を法人内で掘り下げ、職員一人一人と深く共有し、法人の存在意義を社会に訴える」という視点を持って広報戦略を

県民ボランティア活動  
助成のご案内

ひょうごボランティアプラザでは、ボランティア活動の安定的かつ継続的な発展を図ることを目的として、ひょうごボランティア基金を財源に「県民ボランティア活動助成」を実施。7月2日からエントリーを受け付けている。内容は左記の通り。

エントリー受付期間

7月2日から  
8月31日まで(必着)

対象

県内で継続的にボランティア活動を行う、法人格を持たないボランティアグループ・団体

エントリー(事前申込)

所定のエントリー書に必要事項を記入の上、活動している地域の市区町村社協に届け出る。

助成額(1グループ・団体当たり)

3万円が上限の全団体一律同額

詳細はWEBサイトを参照

https://www.hyogo-vplaza.jp/

7月29日(日)、第1回福祉の就職総合フェアを開催します!

2019年卒業予定の学生の方、福祉に興味・関心のある方ならどなたでも参加いただけます。

日時 7月29日(日) 13:00~17:00(入場は16:00まで)

会場 神戸国際展示場2号館(神戸市中央区港島中町6-11-1)

(アクセス) ポートライナー「市民広場」駅下車すぐ

特典 来場者全員に、福祉のお仕事分かる「ガイドブック」をプレゼント!

- 内容
- ・福祉施設等の人事担当者との個別面談
  - ・福祉の職場への就職や資格に関する各種相談コーナー
  - ・先輩職員との交流コーナー



対人援助スキル向上へ  
新任職員研修を開催!

地域包括支援センター・在宅介護支援センターにおける日々の総合相談業務においては、高齢化の進展により相談件数が増加している。さらに、支援困難事例も少なくない中で、センター職員の対人援助



立てていくことが大切である」と指摘。「社会福祉法人の組織・事業の透明性の向上、公益的な取り組みの『見える化』『見せる化』が組織強化や法人のブランディングにもつながっていく」と情報発信の意義と重要性について説明した。

社会福祉事業経営相談室だより

※「一般相談」は月・水・金曜日、「専門相談(公認会計士)」は第1水曜日の10:00~17:00に相談員を配置しています。TEL:078-271-1230

社会福祉法人会計基準の主な改正点

今回は、平成30年3月20日付で厚生労働省から通知された「社会福祉法人会計基準の一部を改正する省令の公布について」に基づき、会計基準の主な改正点について説明します。

- 1 減価償却……有形固定資産(有形リース資産を含む)に関する減価償却の表示は、直接法と間接法のいずれかによることが明記され、間接法の場合の控除科目(〇〇減価償却累計額)が追加されました。無形固定資産に対する減価償却累計額は直接法により表示します。
- 2 引当金
  - (1) 徴収不能引当金……徴収不能引当金について、「直接法又は間接法のいずれかを選択して」、当該金銭債権から控除すると明記されました。
  - (2) 役員退職慰労引当金……引当金に役員退職慰労引当金が追加されるとともに、必要な勘定科目が追加されました。

※その他、都道府県社協が実施する退職共済事業に関する改正などが行われています。



相談援助に必要なスキルを学ぶ参加者ら

助に係るスキル習得は欠かすことではない。  
そうした中、5月17日に、兵庫県地域包括・在宅介護支援センター協議会では、「職員としての基本を学ぶ」相談援助に必要な「コミュニケーションスキル」をテーマに新任職員研修を開催。県内各地から41名が参加した。  
講師は、人間関係や対人援助分野に精通している兵庫県対人援助研究所主宰の稲松真人氏。研修では、ソーシャルワーカーに求められる基礎的な視点・知識・技術などについて分かりやすい講義と併せて、傾聴の方法や面接時の行動に関するロールプレイを通じて、住民から相談を受けるセンター職員として身に付けておくべき姿勢を学んだ。

寄付・寄贈のお礼

5月24日、神戸市内で開催された一般社団法人兵庫県宅地建物取引業協会の第58回定時総会において、同協会から県社協に50万円の寄付があり、吉本会長から感謝状を贈呈した。  
同協会では、毎年、社会貢献活動として福祉の増進のために寄付を実施。協会の本部・支部の事務所のほか、会議・研修等の会場に募金箱を設置し会員へ募金を呼び掛けるなど、積極的に募金活動に取り組んでいる。

寄付金は、本会が市町村社協をはじめとする関係機関・団体等と協働して推進している支え合い社会づくりを活用させていただく。



## 助成金情報

県社協「ひょうごボランティアプラザ」のWEBサイト (<https://www.hyogo-vplaza.jp/>) では助成金情報を多数掲載しています。ぜひご利用ください。

### 社会福祉法人清水基金 平成30年度社会福祉法人助成事業

障害児・者の施設を運営し、社会的自立支援・地域移行を図る社会福祉法人に対して助成します。

**対象** 障害児・者福祉の増進を目的に運営している社会福祉法人の事業

**助成額** 1法人50万円以上1,000万円以内(総額3億6,000万円を予定。助成件数80件程度) ※申し込み法人が総事業費の30%以上を負担

**締切り** 平成30年7月31日(火)必着

**④ ⑤** 社会福祉法人清水基金  
TEL 03-3273-3503

**URL** <https://www.shimizu-kikin.or.jp/>

### 一般財団法人松翁会 平成30年度社会福祉助成金

社会福祉に関する民間事業に助成します。

**対象** 原則法人・団体であり(法人格の有無は不問)、障害者の福祉向上案件や難病案件、虐待防止案件であることなどの条件を満たすこと

**助成額** 1件10万円以上60万円以内(総額700万円以内)

**締切り** 平成30年7月31日(火)必着

**④ ⑤** 一般財団法人松翁会  
TEL 03-3201-3225

**URL** [http://shouhoukai.or.jp/zaidan/hojin\\_shouhoukai/](http://shouhoukai.or.jp/zaidan/hojin_shouhoukai/)

### 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団 児童養護施設・里親家庭の高校生進学応援金

将来に向かって進学する人を応援します。

**対象** 児童養護施設や里親家庭で生活し、平成31年4月に大学、短期大学、専門学校への進学を希望している高校3年生(高卒認定合格見込み者を含む) ※年間60万円以上の返済不要の奨学金を他団体などから支給される人、4月以外に入学をする人は対象外

**助成額** 入学金(実費)、卒業するまで年間60万円を支給(上限240万円。ただし6年制大学は上限360万円)

**締切り** 平成30年8月8日(水)必着

**④ ⑤** 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団

TEL 03-5540-7446

**URL** <http://www.asahi-welfare.or.jp/>

### ひょうごボランティア基金 県民ボランティア活動助成

県民の地域活動への主体的な参加を促し、ボランティア活動の裾野を拡大するとともに、活動の安定的かつ継続的な発展を図るボランティアグループ・団体に対して助成します。

**対象** 兵庫県内において継続的にボランティア活動を行う、法人格を持たないボランティアグループ・団体であることなどの条件を満たすこと

**助成額** 1団体上限3万円

**締切り** 平成30年8月31日(金)必着

**④ ⑤** 各市町社会福祉協議会、ひょうごボランティアプラザ  
TEL078-360-8845

**URL** <https://www.hyogo-vplaza.jp/>

### ひょうご安全の日推進県会議 ひょうご安全の日推進事業 平成30年度助成

①全県事業・地域事業

**対象** 震災で学んだ教訓の継承・発信などを目的に、一般県民を対象に実施される講演会、シンポジウム、啓発イベントなどを行うNPOやボランティア団体、実行委員会、学生団体など

**助成額** 全県事業:1団体上限100万円、地域事業:1団体上限50万円(他条件あり)

②実践活動事業

**対象** 災害に備える実践的な防災訓練、防災学習を行う地域団体や学生グループ、学校、企業・事業所

**助成額** 1団体上限30万円(他条件あり)

**締切り** ①【第3期】平成30年9月14日(金)~28日(金)、②事業開始月の前月5日まで

**④ ⑤** ひょうご安全の日推進県会議事務局  
TEL078-362-9984

**URL** <http://19950117hyogo.jp/>

## 募集

### のじぎく文芸賞募集

人権文化の進展と人権課題の解決に寄与する内容の①小説、②随想、③詩、④創作童話を募集します。

**応募資格** 兵庫県内に在住、在勤、在学の方

**作品規定** ①原稿用紙10枚以上30枚以内、②10枚以内(一般の部)、5枚以内(学齢児童生徒の部)、③2枚以内、④10枚以内

**賞** 最優秀賞(兵庫県知事賞):全応募作品から各部門ごとに1編、優秀賞((公財)兵庫県人権啓発協会理事長賞):各部門ごとに一般の部、学齢児童生徒の部から各1編、佳作(同上):各部門ごとに一般の部、学齢児童生徒の部から数編

**締切り** 平成30年9月10日(月)消印有効  
**④ ⑤** 公益財団法人兵庫県人権啓発協会「のじぎく文芸賞」係  
TEL078-242-5355

**URL** <http://www.hyogo-jinken.or.jp/>

## 行事予定

**7月 2日** 第1回社会福祉法人連絡協議会代表者連絡会◆県福祉センター  
**9日** 福祉事業推進部会◆県福祉センター  
**12日** 権利擁護部会◆県福祉センター  
**13日** 地域福祉推進部会◆県福祉センター

市町社協活動推進協議会幹事会◆県福祉センター

**17日** OJTリーダー養成研修(基礎編)◆兵庫県私学会館

**19日・20日** 相談面接技術研修(初級) Aコース◆県社会福祉研修所

**21日** 子育て支援員研修◆県社会福祉研修所

**24日** 福祉のオシゴトはじめてガイダンス◆ハローワーク神戸

社会福祉援助基礎研修 Aコース◆県社会福祉研修所

日常生活自立支援事業専門員・担当者研修会◆県福祉センター

**25日・26日** 相談面接技術研修(中級・全2コース)◆関西学院大学

**26日** 経営協第248回理事会・例会◆神戸メリケンパークオリエンタルホテル

**27日** 第2回社会福祉政策委員会◆神戸芸術センター

第1回社会福祉情勢セミナー◆神戸芸術センター

**29日** 第1回福祉の就職総合フェア inHYOGO◆神戸国際展示場2号館

**8月 21日** 福祉のオシゴトはじめてガイダンス◆ハローワーク神戸

**28日** 「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーン推進協議会総会・「支え合い社会」県民フォーラム◆神戸芸術センター

あなたの施設経営は、大丈夫ですか？  
国民の目を意識した経営ができていますか？

**役員人材バンク**  
医療法人・社会法人向け監事、理事、評議員紹介システム

病院や福祉施設を運営する医療法人や社会福祉法人向けに、  
社外役員に就任する意思のある方を**無料**でご案内するシステムです。

医療法人及び社会福祉法等の一部を改正する法律の改正により、役員との責任と義務が強化されました。医療法人の監事には、理事会への出席義務や報告義務が課されました。今後、役員の人選にあたっては、法改正の趣旨を理解し、慎重に対応する必要があります。

TEL : 03-3513-6040  
URL : <https://jhoa.biz/app/webroot/lp/>

日本ヘルスケア役員協会

お問い合わせは  
**06-6952-7015**  
(9:00~17:00 土日祝除く)  
医薬品・健康食品・健康関連用品  
**大日商事株式会社**  
〒535-0002  
大阪府旭区大宮4-19-11

SHOP-D でのご注文の際  
**兵庫県社会福祉協議会会員**  
の優待価格が適用されます。

大日商事の健康・美容の通販ショップ  
**SHOP-D**

※8月OP-Dでは、医薬品の取扱いはありません。

※通販サイトからの場合は、送文ページの通信欄に**兵庫県社会福祉協議会会員**と記載してください。

スマホはこちらから ⇒

お電話はこちらから ⇒ **0120-18-7015**

shopd 検索

URL: <http://www.shop-dainichi.com>  
(9:00~17:00 土日祝除く)